

会 議 録
-------

会 議 の 名 称	第7回枚方市学校規模等適正化審議会
開 催 日 時	平成27年6月1日（月） 10時00分から 12時00分まで
開 催 場 所	枚方市市役所 別館4階 特別会議室
出 席 者	岡澤潤次委員（会長）、神田裕史委員、木村朋子委員、 小原寿三委員（副会長）、島善信委員（副会長）、田窪美葉委員、 津浦啓子委員、農頭麻衣子委員、林文子委員、水嶋忠雄委員、 光山奈美子委員、宮原保子委員、森崎武史委員
欠 席 者	酒井恵子委員、上山芳明委員
案 件 名	（1）議事案件 ①学校規模等適正化の方策について ②その他
提出された資料等の名	①資料1 枚方市学校規模等適性化審議会委員名簿 ②資料2 枚方市の小中一貫教育について ③資料3 大阪府における小中一貫校の状況 ④参考資料1-1～11-6
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高陵小学校、中宮北小学校の適正化方策は、両校を統合し、高陵小学校に統合校を設置する中部A-イ案に決定した。</li> <li>・樟葉北小学校の適正化方策は、樟葉小学校と統合し樟葉小学校に統合校を設置する北部A-ア案に暫定的に決定する。統合の時期については今後の児童数の推移を見ながら取り組む。 (なお、楠葉中学校での小中一貫校について検証を行う。)</li> <li>・明倫小学校の適正化方策は、中宮小学校と統合し、中宮小学校に統合校を設置する中部F-ア案に決定した。</li> </ul>
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開（理由：枚方市附属機関条例第6条第1項第2号の規定に基づくため。）
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	非公表（理由：枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する非公開情報が含まれる事項について審議・調査等を行う会議の会議録のため。）
傍 聴 者 の 数	なし
所 管 部 署 ( 事 務 局 )	教育委員会事務局 管理部 学校規模調整課

## 審 議 内 容

会 長 本日は、週始め月曜日の何かとお忙しい中、第7回審議会にお集まりをいただきまして、ありがとうございます。さて、前回4月15日に開催いたしました審議会におきましては、具体的な適正化の方策についての、初めての会議でしたが、時間的な制約から、事務局からの説明にとどまってしまいました。本日は、その審議に至らなかった高陵小学校と樟葉北小学校の統合案について、まずは審議し、その後、次の学校の統合方策案を、順次諮っていきたいと考えております。どうか、本日も最後まで忌憚なく、活発なご議論をよろしく願いいたします。それでは、会議に入ります前に、今回、事務局から一部の委員の方が交代されたと報告を受けておりまして、新しく委員となられます方を事務局からご紹介をお願いします。

事務局 それでは、交代された委員の方をご紹介させていただきます。まず、辞任されましたのは、大畑尚美委員と光山奈美子委員で、5月31日付けをもって解嘱となりました。今回、辞任に伴いまして、お二人の推薦団体である枚方市PTA協議会から新たにご推薦いただき、本日6月1日から委嘱をさせていただきましたので、ご紹介いたします。木村朋子委員でございます。同じく農頭麻衣子委員でございます。よろしく願いいたします。以上でございます。

会 長 それでは、会議を進めさせていただきます。本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

○事務局から委員総数14名中、委員12名が出席しているため、審議会が成立しているとの報告を受けた。

会 長 只今の報告のとおり、本日の審議会は成立しておりますので、これから会議を始めたいと思います。事務局から、本日の配布資料の確認及び前回第6回審議会の会議録の取り扱いについて、説明をお願いします。

○事務局から配布資料の確認及び会議録の承認依頼を受けた。

会 長 只今、事務局から第6回の会議録（案）について、承認の依頼がありました。会議録については、委員の皆様にはご一読いただいているかと思いますが、ご指摘などなければ、確定することにご承認いただけますか。

会 長 異議がないようですので、会議録につきましては、配布された会議録で確定をさせていただきます。また、前回、審議会の運営について、お諮りさせていただきましたとおり、前回の審議から今回も同様ですが、会議は非公開とさせていただきますので、会議録につきましても当分の間は非開示とし、適切な時期に合わせて公開するという取り扱いとさせていただきます。ご了解をお願いいたします。それでは、本日の議事案件に移りたいと思います。まず、議事案件の①学校規模等適正化の方策について、事務局、説明をお願いします。

○前回の「中部（1）高陵小学校適正化案」の追加説明を受けた。

会 長 事務局による評価の結果として、中部Aーイ案が最善策ではないかということですが、いかがでしょうか。ご質問や意見をお願いします。

委員 高陵小学校と中宮北小学校の留守家庭児童会室の在籍児童数を足すと72名。この人数を受け入れられる児童会室の設備が、どちらの小学校にもないということですが、高陵小学校のほうに増築もしくは教室の対応をしてもらえるという判断でよいのでしょうか。

事務局 今回の適正化に基づいて増築等が必要になる際には、庁内の検討において、現在のニーズに応える形で検討するということになると思います。

会長 留守家庭児童会については、高陵小学校以外の学校でも同じ対応ですか。

事務局 全小学校を対象に、専用室の建て替えや増築等の検討を進められているところです。

委員 前回、分類整理された検証項目・視点で5つに分類されているが、これは非常にわかりやすいと思います。2点目の施設規模の(1)受け入れ可能な教室の確保という点で、中宮北小との統合案方策が保有教室数や教室数が不足する場合の増築等の必要性において評価できる要素かなと思って聞かせていただきました。5点目の地域連携に関しては、高陵小学校の開校が昭和43年、中宮北小学校が昭和55年で、中宮北小学校は高陵小学校から分離していることを考えれば、分離前の学校に統合するのがよいのではないかと思います。小中連携の中学校区との関係では、他の中学校区でもいえることですが、ある程度の距離になるのはやむを得ないだろうと思います。小中一貫については、招提北中学校と船橋小学校の話が出ていましたが、第一中学校と殿山第一小学校のように目の前になれば、引率しての行き帰りで前後1時間ぐらいのロスはあるのではないのでしょうか。やむを得ないとは思いますが。中宮北小学校と高陵小学校の場合も変わらないと思います。

会長 私の認識では高陵小学校の校区は河岸段丘で、段の下からも多くの児童が通っていると聞きました。その点では中宮北小学校へ、低いところの児童が通うのは大変だろうと想像できます。1点、耐震化はどの小学校もできているとはいえ、中宮北小学校のほうが高陵小学校より12年後にできており、建物が新しいのではないかと素人考えで思うのですが。

委員 建築後40年以上で改修に入るんですね。その点はどうなりますか。

事務局 前回ご説明しましたが3月に策定した枚方市学校施設整備計画がございます。枚方市内の学校施設はいずれの学校も大変古くなってきていて、更新の時期を迎えつつあります。順次施設整備は行っていますが、今回の適正化の方策による整備につきましては最優先となります。長寿命化改修を基本にしなが、建て替えが必要なところは建て替え、その必要があまりないところは長寿命化改修で、ほぼ新築と同様の施設になりますので、その点につきましてはご安心いただけたらと思います。

委員 どちらにも吸収されたイメージが残らないということを確認していましたので、すごくきれいな校舎が建ってまったく新しい学校になるイメージを持ってしまして、その中で、何をもって新しい学校とするのかなあと。そのままの建物では、引越してきた子達が違うところに来たという気持ちできますよね。そうすると、ここは全部新しくなっているよなと思ってしまったんですが。例えば校歌や学校名はどうなるのかなど、今まで学校に普通にあったもののどこをどのように新しくしていくのか考えていただきたいと思います。

会長 建物のほうは先ほどの説明で納得ですが、後のほうに関してはどうですか。

事務局 1月の中間答申で、「学校統合におきましては、子どもたちの夢や元気につながるような方策を進める」という方向性が示されています。具体的には学校統合する3年前までに関係者に公表し、関係する学校の保護者や地域コミュニティ、教育委員会の代表者で仮称「統合協議会」という組織を設け、統合に関しての校歌や校章や学校施設の整備の仕方などの課題についていろいろ

意見を出していただいて、課題を解消しながら新しい学校を築いていくというイメージを持っています。実際にはそういう形で動いていくと考えています。

委員 高陵小学校に移った学校、中宮北小学校の跡地はどうなるのですか。卒業生たちには母校がなくなるということになりますか。

事務局 現時点では何も決まっておられません。庁内の「検討委員会」で、活用について一定検討されるかと思います。なお、施設整備も含め、今、若干想定しているのは、たとえば高陵小学校を更新整備するのに1年か2年の整備期間がかかりますので、その整備期間中、全員中宮北小学校に一旦移っていただき、そこで1年～2年を過ごしていただき、きれいになったところに戻っていただくということを想定しています。その後、中宮北小学校がどうなるのかという点では、枚方市の財産ということから、教育委員会から意見は言えると思いますが、事務的には一定、手が離れていくこととなりますので、その中で今後検討されていくことになるとと思います。

委員 跡地の利活用について、教育委員会として検討していく際にぜひ反映されるよう努力していただきたいのは、そこが学び舎であり母校であり、そこで育った人たちにとってはとても大事な場所であるということ、そのことに鑑みて公共性の高い利活用に配慮していただきたいということです。碑や記念になるものなど、ここに確かにあったという痕跡もほしいでしょう。もし商業施設やパチンコ屋になるようなことがあったら、逆なですることになります。かつて学校であったということを踏まえた公共性の高い利活用をするということについて、教育委員会として、ぜひ意思表示していただきたいと思います。これは、すべてのケースに当てはまるとしますので、宜しくをお願いします。

事務局 統合で廃校になった学校につきましては、「市有財産等有効活用検討委員会」というのが庁内にあり、この中で、どういった有効活用ができるのか、場合によっては売却していくのか等いろいろ方策を検討していくのですが、その中で、今先生がおっしゃったご意見は出していきたいと思えます。なお、平成12年～13年に統合した学校につきましては、統合先の学校に「メモリアルルーム」を設け、校旗・校歌・卒業アルバム等を収め、卒業生らが訪れた際にその部屋を見ていただくということもしています。そうした配慮は、今回以降の場合にもしていきたいと思えます。

委員 2点あります。1点目はメモリアルルームについてですが、今回は新しい学校を作るということですので、高陵小学校に統合校が設置されたとしても高陵小学校のメモリアルルームも残し、高陵小学校の卒業生についても配慮していただきたいと思えます。2点目は、この計画は公表されてから3年間ほど準備期間があるという話でしたが、最低でも3年かけるということは、ここで今決議したら一番早くても平成31年の統合という理解でよろしいですか。

事務局 基本的にはそのように考えていますが、以前、各学年1クラスしかない状況が続いている学校については、3年という期間があるにしても、できるだけ早く解消すべきだというご意見もいただいておりますので、その部分については審議会の答申の中でまとめていただけたらと思えます。

会長 31年度という目途ですが、適正化審議会の趣旨からすると前倒しもあるのではと思えます。一つだけ気になるのは、参考資料1-2の、改修工事をしている2年間引越す場合です。中宮北小学校は保有教室が不足していますが、この場合どうなりますか。ここだけではなく、そのほかでもありうる話なので、お考えを聞かせてください。

事務局 その場合は、仮設校舎を建設する等の対応をしていかねばならないと考えています。

会長 高陵小学校適正化方策については、中宮北小学校と統合して高陵小学校の敷地内に統合校を設置する中部A-I案が、14点という満点評価で最もよい方策であります。ただ、相手方の中宮北小

学校はこれから検討することになりますので、その結論と突合せた上で決定するということで考えております。

次の学校の審議に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

○事務局から「北部（1）樟葉北小学校適正化案」の追加説明等を受けた。

会 長 樟葉北小学校適正化案の審議を行いたいと思います。ご質問やご意見ををお願いします。

委 員 樟葉小学校は古い歴史のある学校ですね。周りは住宅地で拡張の余地はありません。校舎の問題等もありますが、基本的には樟葉北小学校は樟葉小学校と統合せざるを得ないと思います。

会 長 何よりも、古くて想いがある学校であるということですね。大きな課題として、当分の間大規模校になるということがあります。

委 員 もう一つの問題として、楠葉面取町で将来区画整理が完成したら、人口がどれくらい増えるか把握されていますか。

事務局 前回の参考資料2-1、1頁の左下（2）の「住宅開発等の情報」をご覧ください。楠葉中之芝土地区画整理事業が進められていますが、ほとんどの部分が公園等の地域です。開発面積は約90,000㎡で、戸建ての住宅として約50戸が建設されると伺っています。その程度の戸数ですので、それほど大きな児童生徒数の増はないと考えています。

委 員 樟葉小学校には隣接する幼稚園がありますが、卒園児は樟葉小学校と樟葉北小学校の両方に進学するのですか。

事務局 枚方市の幼稚園は現在7園ありますが、各園とも通学区域は設けておりません。できるだけ自転車または徒歩で登園するようお願いしていますが。

委 員 3点質問があります。樟葉小学校の配置図を見ると運動場が非常に狭いですが、校舎が足りないとなると増築のために運動場をさらに削ることになると思います。そうすると、幼稚園と共同で運動場を使うなどのトリッキーなことをしないと無理なのではと思いますが、住宅を下げてもらったり、そういうことが可能なのでしょうか。2つ目は、樟葉小学校に統合することになった場合、樟葉北小学校の平成28年の改修は行われるのかどうか。3つ目に、小中一貫として楠葉中学校に統合するという案は検討されたのでしょうか。

事務局 まず、1点目の増築についてですが、参考資料2-1A3版2頁右側下段に学校施設整備計画に基づいた樟葉小学校の長寿命化改修について記載しています。今回適正化の方策等で具体的な方策が決定しましたら、それにあわせたものに一部修正をして整備を進める必要があると思います。また、ご指摘のように増築をする敷地がありませんので、一部改築をして教室数の確保を図ることになるかと考えておりますが、適正化の方策の中で見極めていきたいと思っています。樟葉北小学校の平成28年度の管理棟の屋根等の改修工事については、保全計画に基づく内容をお示ししています。適正化に基づく整備と施設整備計画による更新整備があり、二重投資にならないよう調整しながら進めることにしています。平成28年度の整備については緊急性・必要性の判断の中で整備するのか否かまたは留保するのか、内容を縮小するのかそのまま実施するのかなどということも含めて検討をするということになると考えています。楠葉中学校と統合して小中一貫校を設置するという方策については、今のところ検討しておりません。

委 員 一つ目の件については、建て替えにより高層化をしても、付近の住民に迷惑をかけないのであれば、これもありうるのではと思います。運動場を広げる形で改築すれば（可能性は0ではない

と思うのですが)、住宅の方まで行くことになっておそらく何年もかかる交渉になると思いますので、実際に小学校の改善にはならないのではないかと危惧します。3点目については、もし中学校にそれなりの広さがあって小中一貫校が実現するなら、今の問題が解決しますので、そちらもあわせて検討していただきたいと思います。

事務局 校舎の増築・建て替えについてですが、おっしゃるようにこの敷地に高い建物を建てて整備をすればよいのですが、各地域それぞれ用途地域というのがあり、用途地域に応じた高さ制限もあって、4階建て・5階建てにするのはなかなか難しい問題があります。また、日影の問題もあり、近隣の住宅に影を落とすとすると、まず不可能になります。ただ、教室棟は一階建てや二階建ての部分もあり、若干の上積みは可能かもしれません。また、例えば体育館とプールを合築してスペースを確保するというのも、こうした狭い敷地の場合には考えていかねばならないのかもしれませんが。施設一体型の小中一貫校についてですが、中学校に少し敷地の余裕があっても、そこに小学校が入ると、面積的に、現在の中学校に小学校を持ってくるのは少し厳しいと思います。ただ、市内に何校か小学校と中学校が隣接しているところがあります。そういったところについては施設一体型が検討できるのではと思います。楠葉中学校については、教育の内容としては小中一貫を進めていきますが、一体型は面積的なことや地形的なことを考えて少し厳しいのではと思います。

委員 私もおそらくは無理だとは思いますが、この審議会としては、いろいろなデータや方策をきちんと調べ検討して無理だという結論が出た上で、だからこの案ですと最終決定を下す場だと思いますのでデータをいただきたいと申し上げました。

委員 樟葉北小学校と樟葉小学校の、参考資料2-1の学校規模の推移ですが、統合した場合、平成30年度から以降に1,000人を越える時期があるということで施設をどのように確保するのかということがありますが、保有教室数が×であったり運動場面積が△であったりすることなどを考えると、今の状態で統合して、学校にとって子供たちにメリットがあるのでしょうか。樟葉小学校に持ってくるのはやはり厳しいと思います。データでは平成40年度を過ぎたら、今現在の樟葉小学校の状態になると考えた場合、早急に統合する必要があるのなら、施設を抜本的に新しく建て替えないと、近辺に住宅が密集している状態では確保は難しいのではないかという気がします。長期的に見ていく必要があるのではないかと思います。本来なら通学区域の変更が一番望ましいけれど、それが難しいという状況の中で統合という形になったと思いますが、今の樟葉小学校には6,941㎡の中に700名近くがいますのでかなり手狭です。その辺を見越して抜本的な対策があるのであれば、平成30年平成31年の統合も可能だと思うのですが。その辺のことを考えた場合、長期的に推移を見ていく必要があると考えます。

事務局 参考資料2-1に樟葉北小学校の児童数・学級数の推移の将来推計がありますが、やはり課題になるのは平成30年ごろから9学級や7学級になっていくという部分だと考えています。その9学級・7学級という部分が現実にはどのような推移になっていくのかということは、見極める必要があると思います。これ以上に学級数が減るのか、またはここまで減る状態にはならないのか、見極める中で適正化の実施時期については判断するべきだと考えます。

会長 ただいまの説明にありましたように、樟葉北小学校は人数が非常に厳しい状況にあるということが課題でありまして、その解消に向けてただいまの意見も含めて検討していただきたいと思います。それでは、樟葉北小学校の適正化方策は、樟葉小学校と統合し樟葉小学校に統合校を設置する方策：北部A-ア案を現時点で最もよい方策としますが、統合の時期については今後の児童数

の推移を見ながら取り組む、としたいと思います。

次の審議に移ります。事務局は説明をお願いします。

事務局 先ほどの楠葉中学校への統合のデータにつきましては、次回以降にお示しさせていただきます。

○事務局から「中部（2）中宮北小学校適正化案」について説明を受けた。

会 長 それでは、中宮北小学校の適正化方策について審議をしていきたいと思います。ご質問やご意見をお願いします。

委 員 先ほどの参考資料1で検討した案件で、高陵小学校は中宮北小学校と統合するのがベストという結論になっていたのですが、今回これを見せていただいて、中宮北小学校にとってそれよりもっと適正なものがあれば検討すべきだと思っていましたが、先ほどと同じように評価の中では高陵小学校との統合が最もよいということですので、もうこれ以上検証する必要はないかと思いました。

会 長 先ほどで審議は尽くされていますし、もっといい案があれば検討するのですが、これについての審議はもうよろしいですか。では、中宮北小学校の適正化方策は、先ほどの高陵小学校の適正化方策案と同様、中宮北小学校と高陵小学校を統合し高陵小学校に統合校を設置する方策：中部A-1案が、現時点で最も良い方策としますが、両校には明倫小学校の統合方策が関連しますので、明倫小学校の審議の後に決定したいと思います。事務局、説明をお願いします。

○事務局から「中部（3）明倫小学校適正化案」について説明を受けた。

会 長 それでは、明倫小学校の適正化方策について審議をしていきます。ご質問やご意見をお願いします。

委 員 参考資料4-2で、「学校の沿革、地域の歴史的な経緯」に△がついているところについて、参考資料10の23ページの説明をしてください。

事務局 参考資料10の23ページをご覧ください。左側の下段に学校の沿革等を記載しています。明倫小学校は昭和32年に殿山第一小学校と山田小学校から分離・開校し、その後昭和43年に高陵小学校に一部分離、昭和47年に中宮小学校に一部分離、昭和55年に中宮北小学校に一部分離という沿革となっています。一方中宮小学校は、昭和47年に山田小学校・明倫小学校から分離・開校という沿革になっています。

事務局 一般論ですが、分離・開校した学校が元の学校に戻る方がご理解を得られやすいのではと考え、分離した学校へ統合する案には△をつけています。

委 員 新しい学校へ行った地域があって、今度は地域の全部がそこへ移る場合ですね。

委 員 一般論ですが、地域にとっては、学校は地域の財産なんだと思います。いい学校があって子供たちがそこで育っているということは、地域全体がいいと評価され資産価値も上がるのではと思うわけです。今まであって大事にしていた学校がなくなるというのは、地域にとって非常に大きなダメージになるのではと思います。そういう意味でも△は理解できます。従って、やはり学校の跡地を地域の財産として有効に利用してもらえれば、少しは納得できるのではないのでしょうか。

委 員 総合的には中宮小学校ではと思いますが。明倫小学校は平成5年か6年に大規模な改修を行っており、開放型の教室があったりして、同時期に改修を行った開成小学校とともに枚方市の目玉

になる学校だと聞いています。今でも正門を入ると、きれいないい学校だと思うのです。新校舎になってから22～23年ですが、歴史的なことも含めてその辺の想いもあるのではと思いました。

会 長 名前もすごい。他の学校は地名がそのまま校名になっていますが、今のようなところで、気にかかることはありません。

委 員 統合するときに、「統合協議会」というようなものを作りますね。その中には教職員はもちろんですが、地域の皆さんにも入っていただいて、いろいろ創意工夫を凝らす、この場合なら明倫小学校と中宮小学校のこれまでの取り組みの特色ある活動や、校内あるいは地域と一緒にあった活動、校舎の当時としては斬新な工夫など、そういうものをきちんと評価して、次の新しい学校の整備に生かしていくといった議論がとても大事ではないかと思います。

会 長 大切なご指摘をいただいたと思います。

とりあえずここで結論を出したいと思います。明倫小学校の適正化方策は、中宮小学校と統合し中宮小学校に統合校を設置する方策：中部F-ア案が最も良い方策となりました。従いまして、先ほどの(1)高陵小学校、(2)中宮北小学校の統合案は、両校を統合し高陵小学校に統合校を設置する中部A-イ案を適正化方策に審議会として決定したいと思います。また、明倫小学校は中宮小学校と統合し、中宮小学校に統合校を設置するF-ア案に決定したいと思いますが、先ほどから出ています貴重なご意見につきましては、この後の検討等にきちんと踏まえて進めていただければと思います。そういうことでよろしいでしょうか。

会 長 異議なしということで、今の段階ではそのように決定します。次の学校の審議に移りたいのですが、時間的にいかがですか。

事務局 残りのお配りした資料を持ち帰ってご確認いただきたいと思います。その際に、若干の踏まえていただきたいことがありますので、山田小学校・山田東小学校・山田中学校の3校に関連した方策ということで、一括でご説明させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

会 長 はいどうぞ。

事務局 まず、参考資料の9をご覧ください。上段右側4、山田小学校の方策案は、中宮小学校と統合し中宮小学校の敷地内に統合校を設置するG-ア案、山田東小学校と統合し山田東小学校の敷地内に統合校を設置するH-ア案、山田小学校の敷地内に統合校を設置するH-イ案、交北小学校と統合し交北小学校敷地に統合校を設置するI-ア案があります。また、山田東小学校の統合方策案は、交北小学校と統合し交北小学校敷地に統合校を設置するJ-ア案と、山田小学校と統合し山田東小学校に統合校を設置するH-ア案、山田小学校敷地に統合校を設置するH-イ案、中宮小学校と統合し中宮小学校敷地に統合校を設置するK-ア案というのがあります。また、この地域につきましては、山田中学校が統合検討対象校となっていて、その方策案も関連してきます。左側の図をご覧ください。山田中学校につきましては、中宮中学校と統合し中宮中学校敷地に統合校を設置するP-ア案、第一中学校と統合し第一中学校敷地に統合校を設置するQ-ア案、招提中学校と統合し招提中学校敷地に統合校を設置するR-ア案があります。また、山田中学校の適正化案としましては、中学校同士の学校統合案に加え、山田中学校と交北小学校が隣接している立地上のメリットがありますので、これを生かして施設一体型の小中一貫校の設置も視野に入れた方策案の検討もお願いしたいと考えています。参考資料9の下右側の図をご覧ください。山田小学校と山田東小学校を交北小学校に統合し、交北小学校を山田中学校敷地に山田中学校と統合校を合わせた施設一体型の小中一貫校を設置する案をS案としてまとめています。以上、これらの学校のことに関連しましては複層的にいろいろと検討内容がありますので、持ち帰って細かく見ていただければ

ばと思います。

会 長 小中一貫校の設置案もあり、次回はこのこともじっくりと検討したいと思いますので、先ほどの説明については、委員の皆さん自身で、ご検討いただいて臨んでいただくように宜しくお願いします。本日は予定通り進まなかったのですが、十二分に検討していただいたと思います。では、今回の設置案についての検討はこれで終わりたいと思います。次回の審議について、事務局のほうから説明をお願いします。

事務局 次回のスケジュールについて確認いたします。第8回審議会は、7月ごろに開催し、学校統合の検討対象とした残りの適正化方策などについて審議をしていただきたいと考えています。その後、9月ごろに全体がまとまれば、というふうに考えております。次回の日程については、調整ができましたらご案内させていただきます。

会 長 次回の日程等について説明がありましたが、そのことについてご意見等はありませんか。

それでは、事務局は次回審議会のための資料作成を宜しくお願いします。これをもちまして、第7回学校規模等適正化審議회를終わります。